総合交通政策推進のための実務者育成の実践
―進化する再生塾・アフター再生塾がまちを変える―

NPO 法人持続可能なまちと交通をめざす再生塾

なぜ人材育成が重要なのか？

技術職員の能力開発の体系　「技術者教育の研究」（社）日本能率協会

- ＯＪＴ
  - 上司による職場での教育
  - 業務ローテーションによる知識習得
- ＯＦＦ-ＪＴ
  - 業務研修
    - 社内研修への参加
    - 社外研修への参加
    - 派遣による教育
  - 自己啓発
    - **各種勉強会への参加**・企画
    - 文献・資料による学習
    - 見学・ヒアリング
    - 社外学会・研修等への参加
    - 大学・**塾等への参加**

▶ なぜ　“まち”と“交通”の問題は解決しないのか

郊外化 Suburbanization ／ クルマ社会化 Motorization ／ 商品化 Commondification

“クルマ”から“公共交通”への移行はライフスタイルの転換を意味する

▶ コンテンツとプロセス
・何をやるか（理論・知識）と　どうやるか！（実践）

▶ ソーシャル・キャピタルの重要性の認識
・われわれが持っている人間のネットワーク
・「資本」であるからには「投資」が必要（想像力・ｴﾈﾙｷﾞｰ・時間）
・ソーシャル・キャピタルは私的財を補完し、人々の幸せに寄与する

まちづくりや交通の問題の解決に取り組む
行政・地域・企業等の実務者を対象として、
理論・実践に関する情報を提供し、
参加者相互の対話・交流を通して
“ビジョン”と“夢“を共有し、
持続可能なまちと交通の推進に寄与することが必要

▼

ビジョンと夢を共有し、人的ネットワークを構築
まちづくりの理論・技術を学ぶ場
問題を構造化して捉え、解決策を組み立て、
提案し、説得し、実行しまとめ上げる「力」を養成
まちづくりの支援・提言

持続可能なまちと交通をめざす再生塾

再生塾の沿革

- ▶ 2006年12月「市民のための公共交通を考える」国際シンポジウム（神戸国際大学）⇒ ソウル市の劇的な変化
- ▶ 2007年正月　北村先生の自宅に集結！
- ▶ 2007年8月～08年2月　再生塾　スタート
- ▶ 2008年1月28日　「まちづくりと交通政策の実践的アプローチ」・・・近畿運輸局主催シンポジウムを支援
- ▶ 2008年8月　基礎編（ワンデイセミナー）＋近運セミナー
- ▶ 2008年10月～09年1月　アドバンスドコース
- ▶ 2009年1月28日「地域公共交通活性化・再生セミナー」・・・近畿運輸局主催シンポジウムで塾生が成果発表
- ▶ 2009年8月8日　基礎編（ワンデーセミナー）
- ▶ 2009年6月　土木計画学研究発表会(徳島大)・塾生発表
- ▶ 2009年9月～12月　アドバンスドコース
- ▶ 2010年1月25日「地域公共交通活性化・再生セミナー」・・・近畿運輸局主催シンポジウムで塾生が成果発表
- ▶ 2010年5月24日　地方議員向け・地域公共交通政策セミナー
- ▶ 2010年6月6日　土木計画学研究発表会（名古屋工業大）・塾生発表
- ▶ 2010年6月12日　基礎編（ワンデーセミナー）　8/11　出前講座
- ▶ 2010年7月14日　WCTR（リスボン）で再生塾の活動を発表
- ▶ 2010年8月28日～12月11日　アドバンスドコース
- ▶ 2011年1月24日　「地域公共交通活性化・再生セミナー」・・・近畿運輸局主催シンポジウムで塾生が成果発表
- ▶ 2011年5月28日　土木計画学研究発表会（筑波大）・塾生発表
- ▶ 2011年6月10日　地方議員向け地域公共交通政策セミナー
- ▶ 2011年6月11日　基礎編（ワンデーセミナー）
- ▶ **2011年8月20日～12月10日　アドバンスドコース**

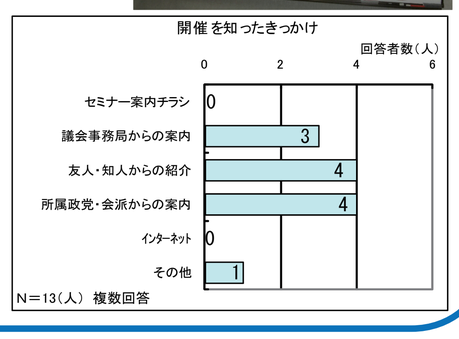
NPO法人持続可能なまちと交通をめざす再生塾　主な活動

基　礎　編　2011年度

概　要	交通政策や交通技術に関する基礎的な知識の習得を目指す行政担当者、交通事業者、コンサルタントを対象として、持続可能なまちと交通を進めていくための基礎知識と考え方をレクチャーする。
参加方法	日時：2011 年 6 月 11 日（土） 10 時～ 17 時 会場：ドーンセンター　参加：約 60 名 参加費：3, 000 円
内　容	講義１：まちづくりと交通政策総論 講義２：公共交通の経営 ～昼食休憩～ グループ・ワーク１ 「持続可能なまちと交通－わたしの問題意識－」 講義３：公共交通活性化・再生の実践 グループ・ワーク２ 「持続可能なまちと交通－課題解決に向けて－」 まとめ・閉会

地方議員セミナー　2011年度

概　要	公共交通サービスが十分とはいえない自治体、路線バスの赤字問題や路線バスの縮小・廃止問題を抱える自治体、コミュニティバスを実施中または計画中の自治体、中心市街地の活力低下が問題となっている自治体、観光振興をめざしたい自治体など、地域が抱える諸問題に対応した交通政策の基本的な考え方や先進事例、計画手法等について、地方議員を対象としたワンデーセミナーを開催。
参加方法	日時：2011 年 6 月 10 日（金） 10 時～ 17 時 会場：エルおおさか　参加：約 15 名 参加費：25, 000 円
内　容	講義１：自治体における公共交通政策総論 講義２：公共交通政策の実践 ～昼食休憩～ 意見交換 「持続可能なまちと交通－わたしの問題意識－」 講義３：公共交通政策の財政と負担 ディスカッション、QandA 「持続可能なまちと交通－課題解決に向けて－」 まとめ・閉会



アドバンスドコース　2010年度

概　要	交通政策や交通技術に関する知識と経験をもっている方を対象として、より実践的にフィールド研修を通した実践的研修を行う。
参加方法	・参加対象： 主に自治体交通政策担当者、交通事業者、コンサルタント、「実践的な研修に参加を希望する方」 ・参加申込みに際してレポート提出 ・参加費：20, 000 円
内　容	①スケジュール ９月～１２月の月１回の研修（計５回） ②研修対象フィールド ・大都市近郊都市 ・中小鉄道　　など ③グループワーク ４～５名のグループにＬＦ（ラーニングファシリテーター）２～３名がついて、現地調査、課題抽出、将来像を描き、実現可能な具体の提案を対象組織にフィードバック

◉ビジョンの共有
絵空事してのビジョン→実現へのシナリオ →複数シナリオの比較

◉チーム学習
行政・コンサルタント・交通事業者の混成チーム（４～５名）
実務で起こっている問題を、チームで共有化・検討し、メンバーの多様な視点や思考によって真の原因を発見し、解決策を立案し、実施（行動）することで確実に問題を解決していくプロセス
1）問題を感じ取る　**2**）問題の所在をつきとめる　**3**）注意深く調べる
4）問題解決のための計画を立てる　**5**）実務者に提言する

◉ラーニング・ファシリテーター（１０名）
ファシリテーターはチームが効果的に機能しているかをチェックし，うまく機能していなければ介入を行い、より効果的にチームが機能するための質問をする役回り

◉カリキュラム

第1回再生塾	8月下旬	グルーピング フィールド提供 情報収集
	9月	現地調査 情報収集 取り組み内容検討
第2回再生塾	10月上旬	現況把握 現状認識と課題共有
第3回再生塾	11月中旬	中間報告
第4回再生塾	12月中旬	報告会
	1月	地域公共交通活性化再生セミナー

※ 上記各種会議以外にも、メンバー間ではメール等でたくさん議論等をしてきました

◉塾生の感想

◆同じ志を持つ、色々な人たちとの【出会い】
「新たな交流ができた！」
◆知識・考え方等の【習得】・【再確認】
「こんな世界があるなんて…」
◆議論・意見交換等による様々な【気づき】
「余計なお世話では？」
→ 今は良いかもしれないが、10年後は…
「結局，何がしたいのか良くわからない」
→ 課題に立ち返ろう！
◆熱い議論等による【モチベーションの向上】
「これからまだまだ頑張ります！」
◆研修全般を通じて【考える力・意識の醸成】
ふだんの仕事を離れての贅沢な時間
チーム全員再生塾中毒に？

アフター再生塾　さまざまな活動・交流が広がっています。

1 地元や自治体・事業所での意見交換会

鉄道事業者社内や自治体でも、アドバンスドコースでまとめた提言を報告し、意見交換を実施。

・２００９年度　京田辺市・京福電鉄（嵐電）　報告会
・２０１０年度　京田辺市・富田林市　報告会
・２０１１年度　叡山電鉄ヒアリング
大和団地・清和台団地　住民ヒアリング
川西市への報告・意見交換会

2 各種学会での発表

・２００９年６月土木計画学研究発表会（春大会：徳島大）
・２０１０年６月土木計画学研究発表会（春大会：名古屋工業大）
・２０１０年７月WCTR（リスボン）
・２０１１年５月土木計画学研究発表会（春大会：筑波大）

3 再生塾女子部を中心としたイベント企画

アドバンスドコース受講生の女性を中心とした様々なイベントを企画しました。キーワードは「楽しく学ぶ」

◆2010年12月：再生塾女子部忘年会
◆2011年1月：新年合宿
・叡山電鉄沿線の「エクシブ京都」に宿泊
・まちと交通について夜通し語る
◆2011年5月：加西市遠足
・兵庫県加西市に訪問（塾生の加西市職員の案内）
・北条鉄道・史跡・はっぴーバスを視察
・「原始人会」のみなさんとの素敵な出会い

4 他団体との連携

・関西交通政策実務者懇話会
・京都大学大学院工学研究科
低炭素都市圏政策ユニット
・京都大学大学院工学研究科・医学研究科
安寧の都市ユニット
・地域と交通をサポートするネットワーク in Kyushyu(Qサポネット)との連携計画中

5 OB交流事業

主にアドバンスドコース修了生の交流が続いています。

・基礎編・懇親会への参加
・アドバンスドコース報告会へのゲスト参加
・各チームでの打ち上げ

あなたも参加してみませんか？
⇒http://www.saiseijuku.net/